

## 地域バイオマス利活用交付金(畜産ハード事業)

都道府県	市町村名	地区名	事業実施主体	事業内容	評価年度	事業計画目標	目標達成状況		総合評価			備考
							実績値	達成状況	事業実施主体	都道府県	農政局等	
青森県	十和田市	十和田市	有限会社みのる養豚	浄化処理施設	H22	成果目標指標値189ポイント	189ポイント	100%	当該施設が継続して計画的に稼働していることにより、環境保全効果、産業経営改善効果等が今後期待され、十和田市バイオマスタウン基本構想の『循環型都市の構築』、『地域産業の振興』の実現に大きく寄与するものと思われる。	当該施設が恒常的に稼働することにより、水質汚濁防止等環境問題が解消される。また、耕畜連携を強化しながら、生産堆肥の農地還元による資源循環型営農体系の確立や良質堆肥施用による作物の生産性の向上につながり、環境保全型農業の振興が図られ、ひいては地域の活性化効果が期待させる。	当該施設の整備により、年間105,996tの家畜排せつ物が処理されることで、環境保全対策の向上につながるのと同時に、安定的な堆肥生産が可能となった。これにより、資源循環型農業のシステムの確立に大きく貢献すると思われる。	
秋田県	大館市	大館	有限会社大館ファーム	堆肥化処理施設・堆肥調整保管施設・ショベルローダー・運搬車	H22	成果目標指標値14ポイント	8ポイント	57%	鶏舎を新設し、従来の飼養羽数の2倍弱まで採卵鶏を増羽し、そこから発生する鶏糞の堆肥化を行う計画であるが、大きな問題もなく当初計画どおりに経営拡大を進めている。今後も適正な処理と近隣農家等への堆肥の供給を図り、目標達成に努めてく。	経営の拡大が計画どおり順調に進んでおり、整備した施設も効果的に活用されている。今後も計画的な経営に努め、堆肥の生産と農家等への還元により、バイオマス資源の有効利用に取り組んでいる。	平成22年5月には新設鶏舎への雛導入が計画どおり達成し、当該事業で整備した施設についても計画どおりに活用されると思われる。生産された堆肥についても農家等への供給を図っていくことで、資源循環型農業の確立が一層推進されると思われる。	